

投資者の皆様へ

2022年11月14日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

11月14日の弊社ファンド『ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド』の基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

以下のファンドの基準価額が11月14日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.対象ファンドの基準価額及び騰落率(11月14日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	17,386 円	▲974 円	▲5.3%

2.基準価額下落の主な要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

本日の下落は、11月14日の東京市場で当ファンド中の保有比率が最大(約40%)のソフトバンクグループ株が、6,068円(11日:6,953円)と12.7%下落したことが要因です。

これは1日の下落率としては、約2年8か月ぶりの大きさです。背景は、11日の第2四半期(7~9月期)決算発表で、追加の自社株買いの発表が行われなかったことから、自己株式取得はいったん終了したと失望されたこと、また、出資先企業(未上場企業)の公正価値の下落が続いたことです。部門別では、ビジョンファンド(SVF)事業の大幅な損失が発表されたことが懸念材料となりました。一方、投資損益、税前利益ともにプラスとなっております。事前の業績回復期待が大きかったことによる反動もあると考えられます。

当面足元の株価急落による売り圧力は継続すると見られます。しかしながら、同社は、マクロ環境が悪化する中、「守り」の姿勢を強めております。SVFの投資抑制、有利子負債の圧縮、資産の現金化などを進めるものと考えます。10月から約2,000円上昇した後の1,000円近い下落となり、テクニカル的に微妙な水準にあります。子会社のARM等のIPO(新規上場)の観測等プラス材料も多く、急落にともなう混乱は徐々に鎮静化すると予想されます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。